

新庁舎の実施設計を進めています



新庁舎イメージ

機やパソコン、収納、電源、電話、LANなど必要となる物品を図面に配置して必要数量を見定めるほか、人の動線を考慮しながら、ドアの位置や種類、カウンターの形状や高さなど執務室や会議室の構造を具体化しています。

執務室や会議室の構造の具体化

今回は、「実施設計」の策定を進めている中で、現在、どのような検討がなされているかを報告します。

津別町役場の新庁舎建設に当たっては、これまで津別町庁舎等建設審議会での審議や議会特別委員会との協議を重ねながら「基本構想・基本計画」と「基本設計」の策定を進め、広報、町民説明会で皆様にも情報をお伝えしてきました。

平成31年3月をもって「基本設計」の策定が完了したのは、4月より「基本設計」の委託業者である株式会社アトリエブク（札幌市）と「実施設計」の委託契約を締結し、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（以下、北総研）の協力をいただきながら、役場とアトリエブクとで具体的な設計書に当たる「実施設計」の策定を進めています。

6月8日、北総研において、新庁舎の縮尺モデルを用いた風洞実験を行いました。

この実験は、降雪時、新庁舎にどのような積雪するか、新庁舎の建設が周囲の雪の積もり方にどう影響するかなどを検証す

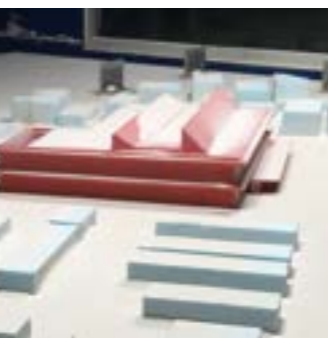
風洞実験の実施

内壁や床については、執務室の床はタイルカーペットのOAフロア、通路の床はフローリング、物品庫などの壁は素地の合板といったように用途やコストに見合った適切な材を用いるよう検討を進めています。

暖房設備のゾーン分けと非常用発電装置の検討

暖房設備については、使用目的や頻度に応じて温水パネルヒーターや温水ファンコンベクター、温水床下暖房、電気暖房エアコンを効果的に配置する検討を行いました。

非常用発電装置については、現在使用している設備を改修して新庁舎で再利用するよりも相応の新型を導入した方がコストが下がることがわかりました。



▲風洞実験の様子

実験の結果、屋根のハイサイドライト部分や2階屋外機械置場など、雪が吹き溜まりやすい場所が明らかとなり、対策を検討しています。

議場システムの検討

新庁舎の議事堂は、町議会の開催のみならず様々な用途にも柔軟に対応できるように、机や椅子は自由に移動できる構造としています。

そのための赤外線を利用した音響設備のほか、議会中継のためのネットワーク設備など、コストを考慮しつつ現在のICT技術に即した設備を検討しています。

■本記事についての問い合わせ先

総務課

☎76-2151

(内線211・238)

可憐な花と新緑に囲まれて 第14回クリンソウまつりが開催される

「第14回クリンソウまつり」が、6月22日・23日の二日間、津別町民の森自然公園（愛称・ノンノの森）とランプの宿森つべつで開催されました。

今年も多くの人々が会場を訪れ、可憐なクリンソウの花が咲く散策路を歩いたり、数々の体験イベントを楽しむなど、初夏の一日を満喫しました。

森の音楽会では、津別郷土芸能・山鳴太鼓保存会の勇壮な演奏や地元音楽家、音楽愛好会の演奏に聴き入り、またオープンしたばかりの自然体験の拠点・ネイチャーセンターも賑わいを見せました。



▲山鳴太鼓保存会の演奏に聴き入る



▲クリンソウが咲く散策路



▲琴伝流大正琴瑠璃の会の演奏



▲販売・物作りのブース

今年津別町で実施 第70回北見分会連合消防演習

6月23日、第70回北見分会連合消防演習が、津別中学校グラウンドで実施されました。

消防精神の高揚と技術の習得及び練磨、指揮・命令系統の徹底、さらに「北海道広域消防相互応援協定」等に基づく消防力の発揮を目的に行われた演習には、津別消防団、美幌消防団に加えて、北見・留辺蘂・端野・常呂・置戸・訓子府・阿寒の各消防団から団員295名、車両14台が参加。

入場分列行進、開会式に続いて小隊訓練ポンプ車操法、模擬火災訓練が行われ、指揮者の号令の下、統制の取れた動きを披露しました。また、演習の合間には津別山鳴太鼓保存会による演奏のアトラクションも行われました。



▲津幡俊二津別消防団長の指揮で行われた模擬火災訓練の様子

地域おこし協力隊の思い出

地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。



須藤由美乃 Neo Folkのクラフトマンとして相生で活動しています。札幌市出身、船橋市生まれ。

昨年の春、ついに念願の相生暮らしが叶いました。歩いて仕事場へ行くのはもちろん、素晴らしいのは、車がなくて、駅舎があつて、芝生がいっぱいあること。一歳になった娘が、一日に三回お散歩をするのも、この風景のおかげかもしれません。

二年前になりますが、シゲチャンが相生の案内地図を作りました。描いてあるのは「クマヤキ、野良猫、牛、人工衛星…」などなど。なんだかズッコケてしまいましたが、本当にその通りなんです。マップに描かれた普通のものが相生という場所に

あつては、どうにも魅力的です。私も、日に三度この上なくゆつくり歩いていると、自分もマップの世界に入り込んだような感覚になります。

シゲチャンは「ワンダーランドあいおい」と呼んでいます。本当にそんな心地がしてくるので

相生にワンダーを求めてやってくる人は結構います。それは、車だつたり、廃墟だつたり、クワガタだつたりそれぞれですが、どれも平和な風景で…。そんな相生に暮らしていると、自然と気持ちが風になります。野良猫にも優しくしてしまうほどに。

